

Compass

女性の活躍応援ジャーナル

vol.02



羅針盤の示す先に、
私が笑顔でいられる場所がある。



CAREER MODEL FILE.02	1
こだわり過ぎず、自分が“楽しい”と感じられているかが大切 ～人生は「これ」という一つの道だけではないから～	
企業訪問記	5

CAREER MODEL FILE.03	3
働くことで自分も成長!「生きている会社」で“挑戦”し続けられる喜び ～協力し合い、助け合いながら。仕事も子育ても一生懸命～	
起業家訪問記	6



こだわり過ぎず、自分が“楽しい”と 感じられているかが大切

～人生は「これ」という一つの道だけではないから～

明るく元気な表情が印象的な内田ふき野さん。花、野菜、果物の種苗を扱う老舗企業で通信販売のカタログ編集などを担当。2度の産休・育休を経て、現在は課長として働いています。仕事への取り組みや、家事と仕事を両立するうえで努力していることなどを伺いました。

うちだ ふきの
内田 ふき野さん

勤務先

株式会社 大和農園

プロフィール

大学院卒業後、2003年に入社。入社当時よりカタログ編集や通販などを担当する通信販売部に所属し、2013年に同部の課長に就任。家庭では同じ会社に勤務する夫と小学1年生と3歳のお子さんがあるワーキングマザー。



働き続けることは私の当たり前

現在はどういったお仕事をされているのか教えてください。

弊社が扱う商品の通販カタログの編集・制作を行っています。その中でも、球根というカテゴリを担当しています。これからどんな商品を販売するのかを決めたり、画像の手配、どのページに何を掲載するかなどを決めていく作業です。現在の部署でカタログ編集をしている社員の中では一番勤務歴が長いので、全体的に物事を見ながら、他のカテゴリの担当者との間にも入って、バランスのいいカタログ作りに取り組んでいます。

2度目の産休・育休を終えられ、2017年5月に復職されています。結婚・出産といった人生のターニングポイントにおいて、働き続けることに迷いはありませんでしたか？

私の中では、一人目を出産した時も「仕事を辞めよう」とは考えていませんでした。「仕事はずっと続けます」というスタンスでしたので。でも実は、後で聞いた話ですが夫は、そうではなかったようです（笑）。夫が働き、妻は家に入る・・・という考えが少しあったようで。でも「仕事を続けたい」という私の思いを汲んでくれ、今は全面的に応援してくれています。

私の母が仕事をしていたこともあって、私の中では結婚・出産後も仕事を続けることは当たり前の感覚でした。私が仕事をしていることと、子どもが寂しい思いをするというのはイコールではないとも思っています。でも2人目を出産してからは、残業はしないと決めました。





働き続けられる環境も大切

復職する時に不安などありましたか？

少しはありました。特に2度目の復職のタイミングが、上の子が小学生にあがった時点で、宿題や時間割の事など保育園の時とは違う環境への変化に、うまく時間のやりくりができるかなという不安がありました。そんなこともあって、残業はしないと決めました。

産休・育休後、復職される方は多いのですか？

実は、会社で産休・育休をとって復職したのは私が初めてだったんです。以前は、結婚・出産を機に仕事を辞める女性が多かったのですが、今では出産後も仕事を続ける後輩が増えてきて心強くなりますし、とてもうれしです。

ということは、内田さんがきっかけで会社の産休・育休制度が使いやすくなったのでしょうか。

曖昧だったところが私の産休・育休取得をきっかけにしっかりと整備され、使いやすくなりました。それに当時の社長が私に、「仕事は続けや」と言ってくくださったのも大きな励みとなりました。弊社は残業が当たり前の会社ではないので、だいたい定時には帰る可以做到。もちろん、繁忙期になると残業する社員もいますが、常に残業をしないと終わらないという雰囲気ではないので、そういう面でも恵まれていると感じています。

考えるよりも、まずは行動！

仕事と家庭を両立するうえで、自分なりに工夫されていることはありますか？またストレス解消法などもあればぜひ教えてください。

考えずに動くことです。考えても進まないなら、とりあえずやる！2人目を産んでから、そんな感情というか意思がより強くなったような気がします。「どうしようかな、ああしようかな」と考えていても進まないです。



から。ストレス解消法は、ちょっとした自由な時間をつくることと、職場の同僚とのママトークです。昼休みに子育ての話をして共感しあえるのも、私にはありがたい時間です。

「仕事」も「子育て」もメインに

入社した頃と現在では、仕事への向き合い方や考え方での変化はありますか？

入社当時は、一生懸命やりたい！全部やりたい！どんどんやりたい！って感じていました。でも出産をしてからは、「子どもたちには私しかないんだな」と思うようになり、ある程度は線引きをして、任せられるところは任せてあまり口出しするのはやめようって思うようになりました。仕事への情熱はそのままに、取り組み方が変わったように思います。仕事が全てで生きてきたわけではありませんが、独身時代は仕事がメインでした。今は、「仕事」と「子育て」のどちらもメインになったという感じですね。

課長という管理職を受けられた時はどんな気持ちでしたか？また管理職として、心がけていることがあれば教えてください。

課長のお話をいただいた時は素直に、「認めてもらえてうれい」というのが一番でした。心がけていることは、私が約束を破ってはいけないということです。課長といえども、みんなと一緒に同じ作業をしています。ミスが多くなるとはいけなし、締め切りも守る。そういった決まり事を率先して守るように、心がけています。

人生は一つの道だけではない

今後、挑戦したいことはありますか？

もっと全体を見られるようになってみたいです。まだまだ自分の事だけに必死なところがあるので、後輩にもっと手をかけてあげられるようになってみたいです。そこが挑戦です。もちろんカタクグも、もっと良いものを作っていきたいです。

最後に、これから結婚、出産、子育てをする女性にメッセージをお願いします。

ものごとにこだわりが強いと大変だなと思っています。「これがしたい」と思っているけど、いろんな状況で諦めざるをえない人もいます。私は人生は「これ」という一つの道だけではないとも思っています。環境が変われば、またそこから違う道が開けることも絶対にあるはず。こだわり過ぎず、自分が楽しいと思えるものに積極的に取り組んでほしいです。



株式会社 大和農園

<https://yamatonoen.co.jp/>

天理市平等坊町110

大正9年創業。オリジナルブランド品種の育種研究開発、国内及び海外での種苗の卸販売や、家庭菜園の種苗の通信販売などをおこなっている。一般的には男性が多い種苗業でありながら、全社員のうち女性が6割を超え、管理職も半数以上が女性。